

「るくれ」ご使用のてびき

「るくれ」をお買い上げいただき、ありがとうございます この「るくれ」は従来のあみ機の機能を基礎に、より簡単に、より早く手編みの風あいをたのしめるオリジナルリティのあるニット作品を編んでいただくために、新しい発想のもとで開発されたあみ機です また「るくれ」にはあみ機の他に、ご自分のお部屋で独習的に作品を作っていただけ楽しい絵で解説された独習書や、あみものの絵本、LEOLE そして、デザインパターンなどに、数多くの出版物が用意されています。あわせてご利用になればひそかにすばらしいニット作品を作りながら機械あみのテクニックをマスターすることが出来ます

「るくれ」にはフランス語で、「ひけつ」という意味があります あなたの喜しなかで生れたヒントをイメージに、イメージを形に、そして形をこころに創りあげる秘訣になりたい！ そんな願いをこめて名づけられた「るくれ」であなたの新しいニットングライフを、たのしいものにつくり上げてくだされば幸いです
ご使用のしおりをよくお読みの上、あなただけのオリジナルニットをどうぞお楽しみ下さい

—もくじ—

—あみ機について—

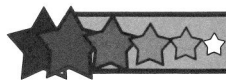
- ★組み立て方としまい方……………P2~3
- ★各部の名称とはたらき……………P4~7
- ★付属品の名称と使い方……………P8~10

—編み始める前に知っておくこと—

- ★糸の準備……………P11
- ★糸の通し方……………P11
- ★編むときに注意すること……………P12~13

—こんな時には—

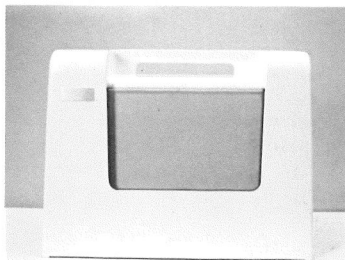
- ★キャリジが途中で動かなくなったとき…P14~15
- ★編み目がはずれてしまったとき…P16~17
- ★まちがえて編んだとき…P18~19~21
- ★いつまでも楽しくお使いいただくためのご注意…P22~23



LECLEの組み立て方としまい方



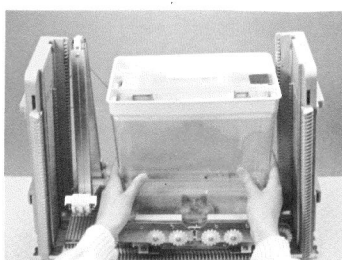
組み立て方



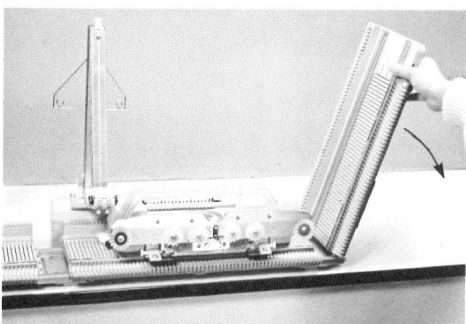
①透明なブックポケットがある面を手前にして置きます



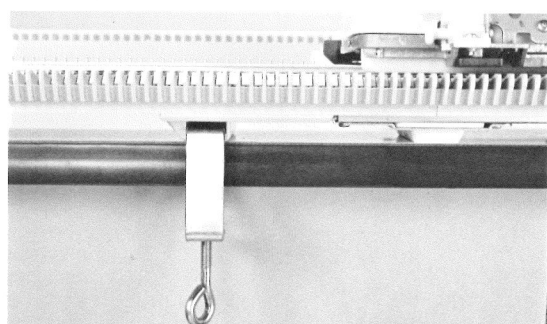
②ケースの両側面にある尾錠をはずしてそのままケースを上にもち上げます



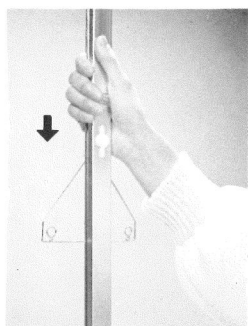
③フリーボックスを上にもち上げてはしません



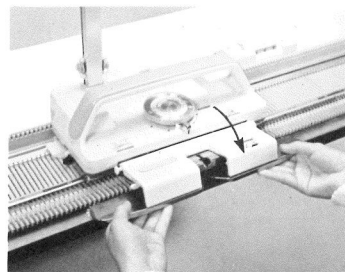
④両側が折れているミゾ板を静かに開いてください 平らにしてから、中心へカチッと音がするまで押し込んでください



⑤付属品箱の中にある2個のクランプをあみ機の下面にある角穴にさし込んで、テーブルに固定します 編む時には、必ずクランプで固定して使用してください

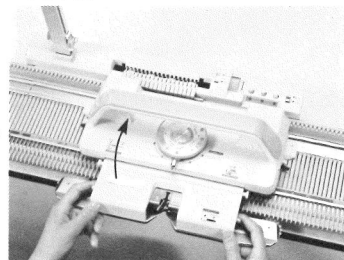


⑥テンションをおこして下方に押し立てます 糸案内をおこします

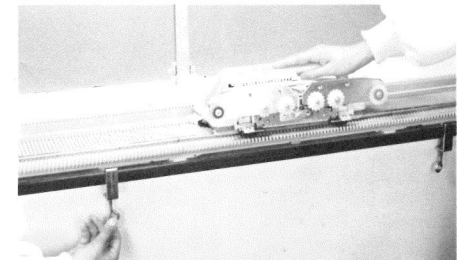


⑦プレッサーを静かに下に下げます カチッと音がするまで完全に下げて下さい これで編むための準備ができました

しまい方

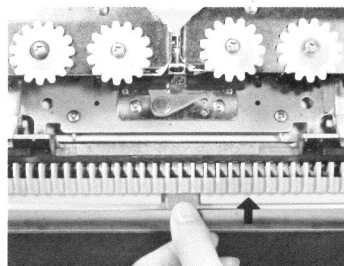


①プレッサーの両側にあるプレッサー解除レバーを両手で同時に手前に引きながらプレッサーを上方へ曲げます カチッと音がするまで完全に曲げてください

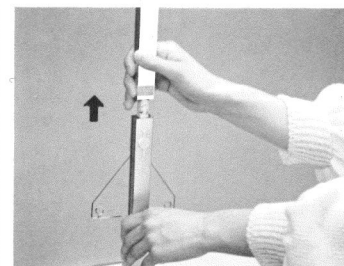


②キャリアジをあみ機の中央部分まで移動させてください

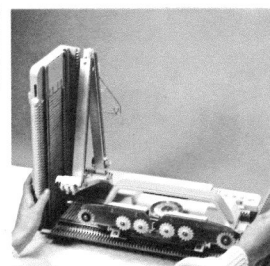
③あみ機とテーブルをとめている2個のクランプをはずしてください



④ミゾ板の中央下方にある赤いボタンを押してミゾ板の左・右を外側へ静かに開きます

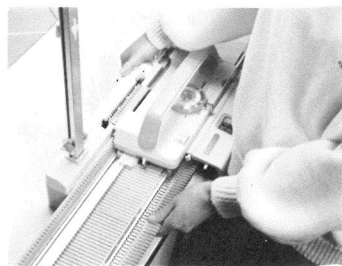


⑤テンションの中央部分の折り曲げる位置から上方を上へ引き上げ、静かに手前にたおします

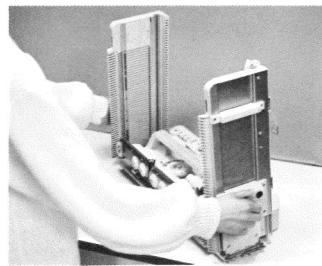


⑥両方の離れたミゾ板がとまるまで曲げてください

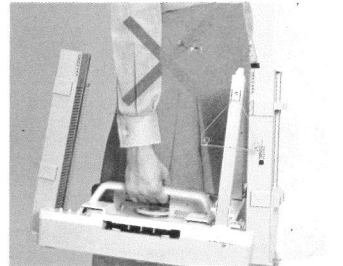
注意してほしいこと



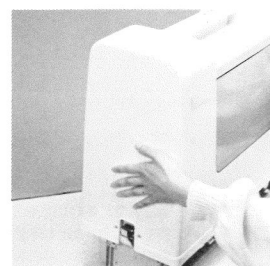
開いた状態で運ぶ場合はあみ機の中央部分を持って運びましょう ミゾ板の両側を絶対に持ってはいけません



折りたたんだ状態で持つ場合は折ったミゾ板の裏側にあるクランプの差し込み口のところに持ってってください



ちょっと持ち運ぶ場合にも、キャリアジのハンドルを持って持ち運ばないでください 必ず両手で、左の写真のように持ってってください



⑦フリーボックスをキャリアジの上に乗せて上方から静かにかぶせて尾錠の下を掛けてとめます



各部の名称

とはたらき

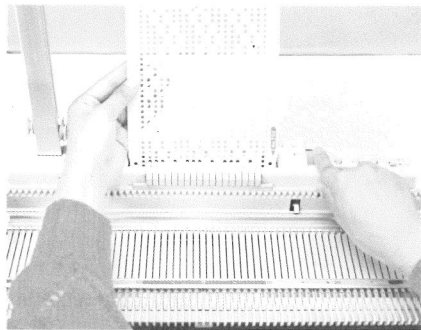
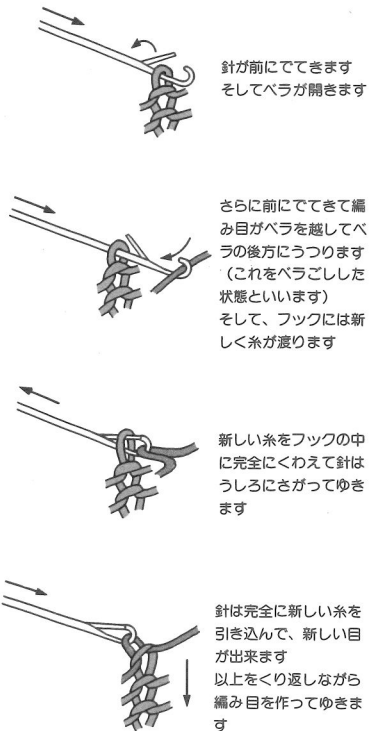


針とそのはたらき

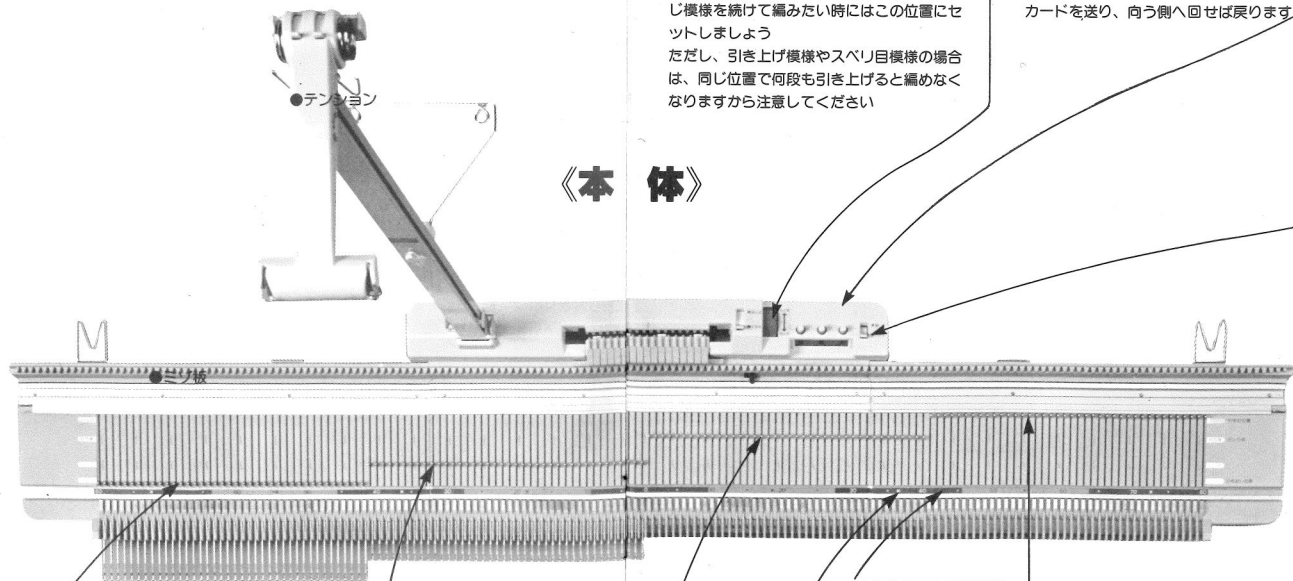
針は、前後に移動しそれぞれの位置によって編めたり、編めなったりします
 ミソ板の両はしのA・B・C・Dの印はこの針の位置を示しています またミソ板の上にはBとCの位置をそれぞれ□と◇でどこどこに表示してありますので、目的に応じて針のハットをそれぞれの位置にあわせましょう

《はたらき》

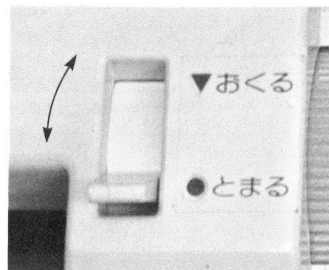
針は、キャリジの動きで下図の順序で編み目を作ってゆきます 糸とフックをしてペラの開運をよくみて理解してください



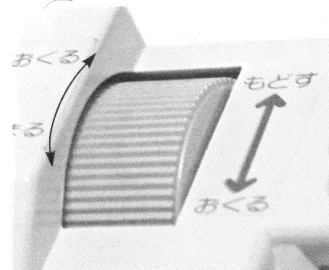
●パンチカード差し込み口
パンチカードを使って模様編みする時にここにパンチカードを差し込みます



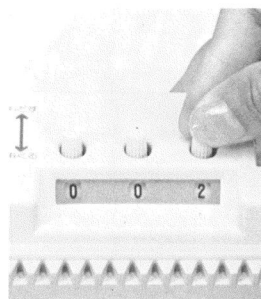
- D位置- この位置の針は、引き返しレバーを(●編む)に合わせると編めますが(▼引き返す)に合わせるとこの位置に針は残って編めません 編んでいる針を一時的に編まないでやすめる時に使う位置です
- C位置- この位置の針はかならず編めます
- B位置- メリヤス編みや模様編みを編む位置です
- A位置- この位置の針は、キャリジを操作しても編めません
あみ機をしまう時には必ずこの位置に針を揃えておきます



●カードレバー
パンチカードを送らせたりストップさせたりします
(●とまる)はパンチカードを送らなくするので、パンチカードを使用していない時や同じ模様を編んで編みたい時にはこの位置にセットしましょう
ただし、引き上げ模様やスベリ目模様の場合は、同じ位置で何段も引き上げると編めなくなりますから注意してください

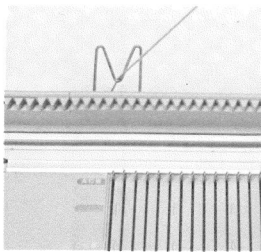


●カードダイヤル
パンチカードをパンチカード差し込み口に入れたのち、このダイヤルで送りたい時、あるいは使用中にもどしたり送りする時に手で使うダイヤルです 手前に回せば、パンチカードを送り、向う側へ回せば戻ります



●段数計
編んだ段数を確認するもので、キャリジがこすごとに数字が1つずつ送られます
手で数字を合わせる時は、数字に反対側のツマミをまわしてください

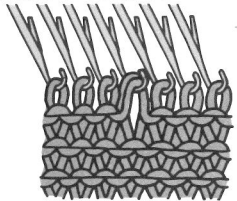
●段数計レバー
段数計を送らせたりとめたりする時に使います
(▼送る) : 段数計は動きません
(●とまる) : 段数計は動きません



●糸かけ
編み込み模様や配色模様編みの時、やが糸をここにかけます
付属箱の中に入っていますので、使用する際は、ミソ板の後ろにある、いちばん長い穴に入れます

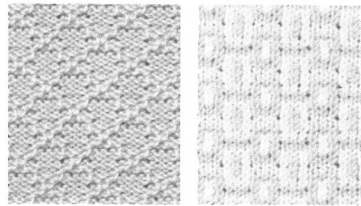
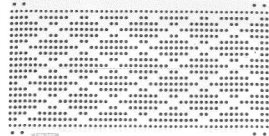
●編み方レバー〈ヒキアゲ〉

選針により編まないメリヤス針のフックにかかった糸を引き上げられた下の段の編み目を一緒に編んでくる模様です



パンチカードの穴のあいている部分はメリヤス編みで編めて、穴のあいていない部分は編めないで針のフックに糸がかかり(引き上がる)模様になります

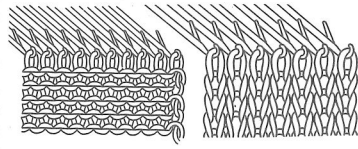
編むときには、じゅうぶんにおもりで編地を下げながら編むのがコツです
NO.701のパンチカードでは並太糸のヒキアゲ模様は編めませんのでご注意ください



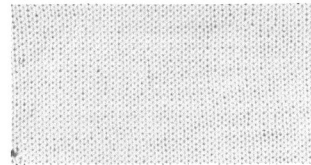
出来上がった編み地(表目側) 2色の色交換した編み地

●編み方レバー〈ヒラアミ〉

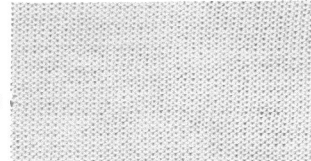
最も基本的でプレーンな編み地です あみ機にかかっている編み地の手前が裏目で「裏メリヤス編み」といいます 向う側が表目で「メリヤス編み」といいます



(裏メリヤス編み) (メリヤス編み)



出来上がった編み地(表目側)

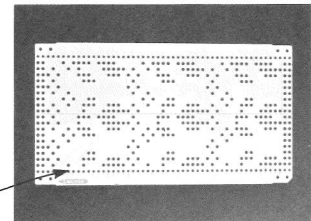


出来上がった編み地(表目側)

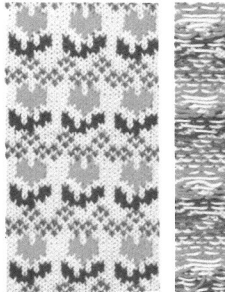
●編み方レバー〈アミコミ〉

糸口①(地糸)と②(配色糸)にそれぞれ糸を通して、同時に編み込む編み方です パンチカードの働きでこの2本の糸を編み分けて模様を作ります

表目側はメリヤス編みと同じですが裏目側は編まない糸が渡ります

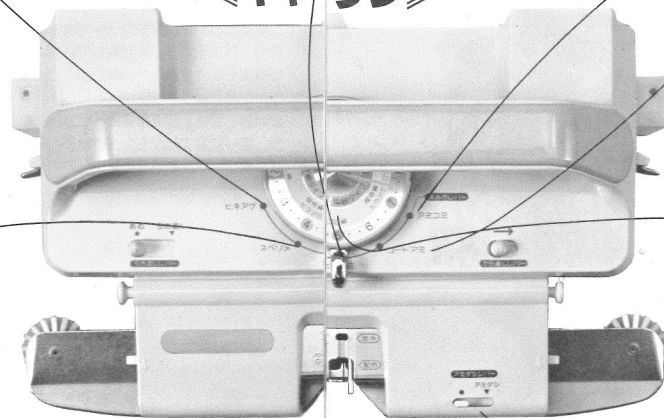


パンチカードの穴のあいた部分(配色糸)の糸で編め、穴のあいていない部分(地糸)で編めます



表目側

《キャリジ》



●編み方レバー〈コード〉

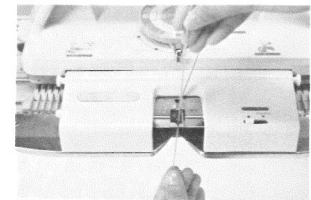
ケーブやフードなどのひもを編むときに使います コードの太さに応じて、3-5目で編みます
キャリジをうごかすだけで編めますが、作り目は巻き目で、そして第一段目はキャリジを右から左へうごかすことに注意して下さい

●糸ダイヤル

編み目の大きさ調節するダイヤルです 使用する糸の太さによって表示された位置にあわせましょう、それぞれの糸のタイプの中で「ゴム編」「ヒラアミ」「模様編」の位置に分けてあるのは ゴム編の場合 他の編み地よりゲージをつめて編んだ方が伸縮の度合いが大きくなるためです

●編み出しレバー

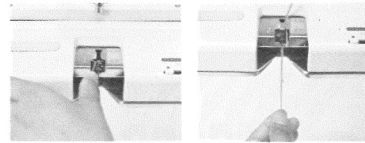
編み出す時(最初の作り目)にこのレバーを▲に合わせ、編み出しが終わったら●にもどします



糸口②(配色糸)の通し方は、広くなった部分へ入れるだけです

●糸口

糸口には①(地糸)と②(配色糸)の2つがあります
パンチカードを使った編み込み模様のときに②の糸口は①と一緒に使います

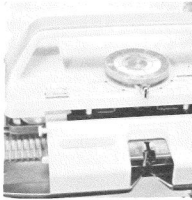


糸口についているレバーを左側へうごかして①の糸口を開きます

テンションから通した糸を糸口の一ばん奥まで糸をまっすぐ下げた状態に入れて、レバーを閉めます

●から通しレバー

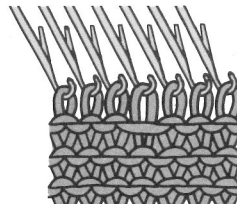
編まないでキャリジを移動させます



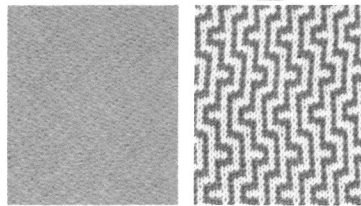
レバーを矢印の方向へ動かす手前が持ち上ります そのま動させます もとに戻す時に上、あるいはその手前のご押し カチッという音とどります

●編み方レバー〈スベリメ〉

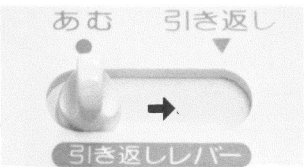
選針により編まないですべらせ糸が下の段の引き上げられた編み目の裏に渡ってできる模様です



パンチカードの穴があいている部分はメリヤス編みで編めて、穴のあいていない部分は編めないで糸が渡って模様になります

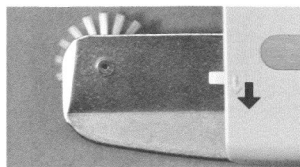


出来上がった編み地(表目側) 2色の色交換した編み地



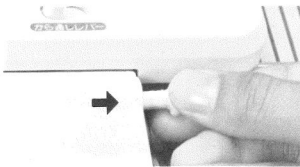
●引き返しレバー

引き返し編みをする時に使います レバーを▼「引き返し」に合わせると、B・C位置の針は編めますが、D位置の針は編めません
●「編む」に合わせると、B・C・D位置の針はすべて編めます



●プレッサー解除レバー

プレッサーの両側にあるレバーを矢印の方向に引くと、プレッサーの固定がはずれて折りたためます ケースに格納するときを使用します
編んでいる途中では折りたたまないでください プレッサーの中に針が入っているからです その時は、「プレッサー固定つまみ」で、プレッサーをはずします



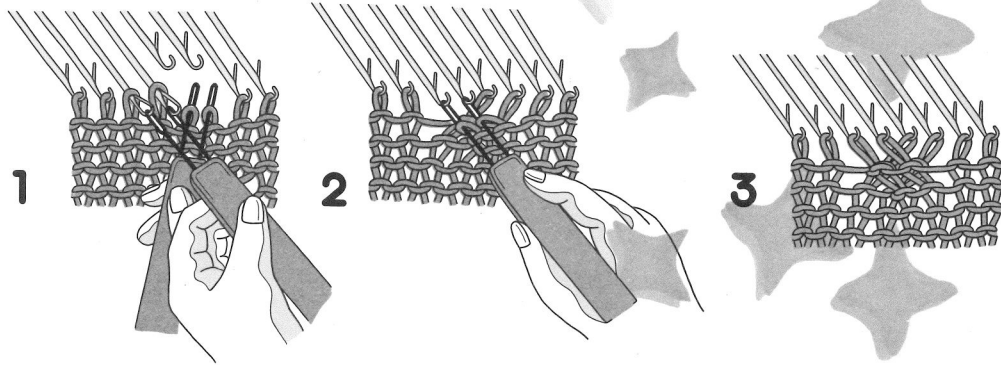
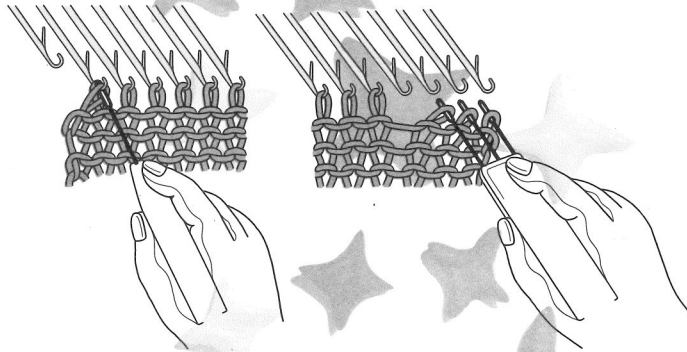
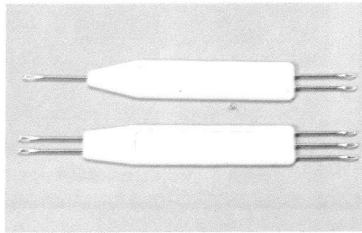
●プレッサー固定つまみ

プレッサーの両側にあるつまみを外側に引くとプレッサーがはずれます 両方のつまみを同時に引くとプレッサーがはずれて落ちますから、片手でプレッサーを持ちながら片方ずつ引きましょう
プレッサーをもとにもどす時はこの逆です

付属品の名称とつかい方

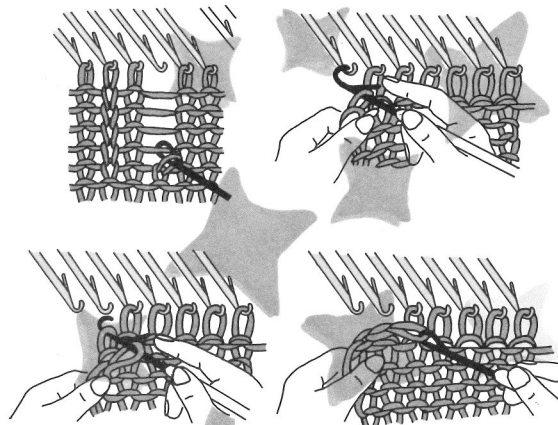
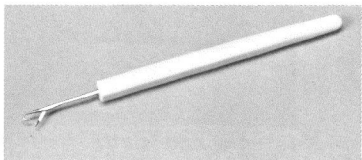
(1)ウツシ

あみ機の上で編み目を移動する時や拾い目を
する時、あるいは縄編みなどで編み目を交叉
させるのに使います



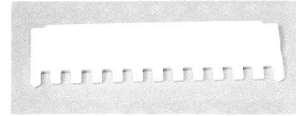
(2)タツピ

ゴム編みのために裏目を表目におおす時や、
編み終りの目をあみ機の上で伏せ目する時、
あみ機から編み目がはずれた時におおすのに
使います。タツピの先はメリヤス針と同じ
形状をしていてフックとベラがあり、メリヤ
ス針と同じにはたらきます

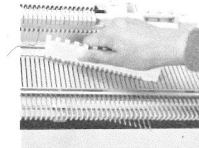


(3)柄板

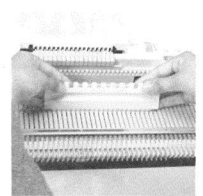
メリヤス針を所定の位置(A・B・C・D位置)
に揃えたい時に使います。全目針出しをす
る場合は平らな側をつかいます。1目針抜き
状態にする場合はクシ歯の側を使います



●全目針出しの場合



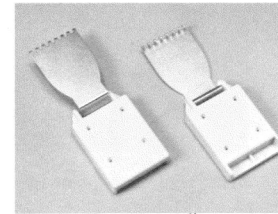
●1目針抜きの状態にする



●出した針はかならず
きちんとそろえます

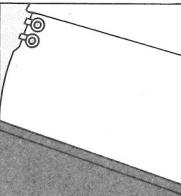
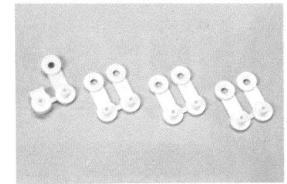
(4)ポリオモリ(2コ)

端の目がつれる時や模様編みの時などに、編
み地の両はしにオモリをかけるとスムーズに
編めます。20~30段毎にかけかえましょう



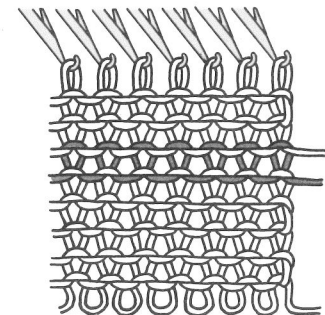
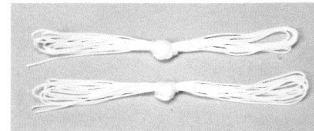
(5)カードスナップ(2組)

パンチカードの模様をくりかえす時カードの
上端と下端を止めるのに使います。
カードスナップは2個つづいていますが、そ
のまま使用しますので、絶対に切りはなさな
いでください。
カードの合わせ方は図のように、手前側を上
にして重ねるよう注意して下さい



(6)抜き糸(2本)

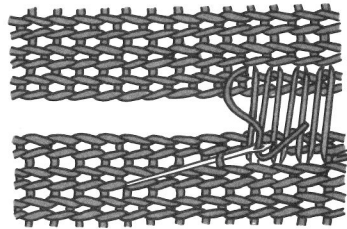
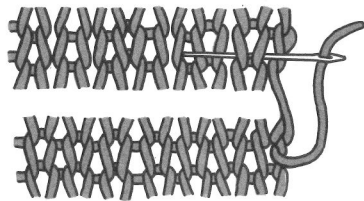
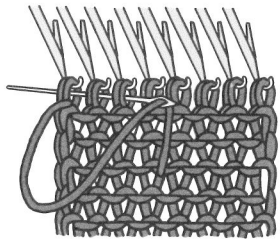
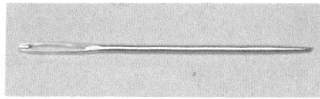
捨て編みと本編みを区別するための1段を編
む時に使います



編み始めの捨て編みと本編みの間を1
糸で編むのは、編み終わってからぬき糸
ぬいて捨て編みを本編みからははずす
編み地は、編み終りからは、ほどきや
ですが、編み始めからはほどきにくい
み始めの捨て編みをした後のみぬき糸
編みます。従って、編み終りの捨て編
む時には必要ありません

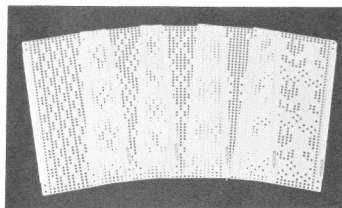
(7)とじ針

あみ機の上で巻きどめしたり、編み上がった各部分を手でとじ合わせたりする時使います



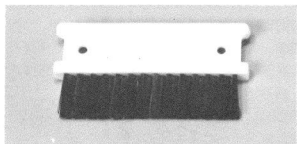
(8)パンチカード(5枚)

“編み方レバー”との関連で、スベリメ模様引き上げ模様、編み込み模様などを編みます No1-No4のカードは、スベリメ、ヒキアゲ、アミコミのすべての編み方に使用できますが、No5はアミコミ模様のみに使います 自分でオリジナルのパンチカードもつくれます



(12)ブラシ

あみ機を使った後は、あみ機についている毛糸くずをブラシできれいに払い落とします



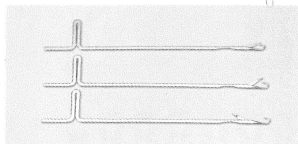
(9)糸タイプ見本

糸の太さにより糸ダイヤルをセットしますが使用する糸がどのタイプに属するかわからない時に、この糸タイプ見本の糸と比較して、糸ダイヤルの位置をきめます



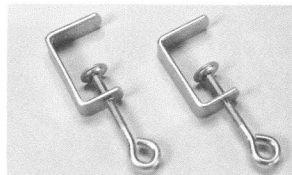
(13)予備針(3本)

メリヤス針が破損した場合はP21の要領で取り替えましょう



(10)テーブルクランプ(2コ)

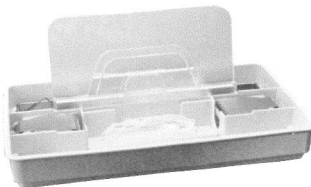
あみ機をテーブルに固定させるためにつかいます



(11)油



(14)ブックスタンド



編み始める前に知っておくこと

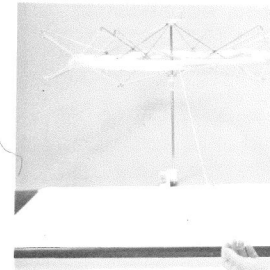
♥ここで糸のおはなし♥

糸タイプ見本では、糸のタイプは大きく分けてスムーズヤーンと、ファンシーヤーンに区別されています スムーズヤーンとは、2本以上の糸をより合わせて作った糸でより合わせる糸の太さや本数により“極細・合細・中細・並太・極太”などの種類があります これに対して、ファンシーヤーンは、2本以上の糸をより合わせるとき、“より”の程度や方向、糸の種類や太さ色あいなどに工夫をこらして、ループ(輪)、ノット(節)、スラブ(稜)などで特色のある外観や感触を持たせた糸のことで、それぞれのデザインによって、たのしく選んで使いたいものです

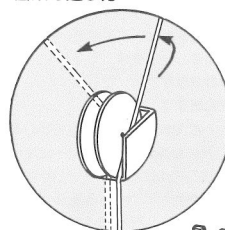
糸タイプ見本は、つかいやすく編み上りの風合いがよい糸としてこの中から“合細・中細・並太”程度の太さを選んでタイプ別に分類してあります 糸はメーカーによって必ずしも名前が一定していないことが多いので、指定しにくい時には、この糸タイプ見本で糸を選ぶ時の参考にしたり、糸屋さんにご相談する場面にも利用してください 実際に編む場合、これらの糸のうち、ファンシーヤーンは、糸の性質上編みにくい場合もありますから、そんな時には、すべりをよくするニット専用のスプレーを糸全体にかけてお使い下さい きっとスムーズに編めます

(1)糸の準備

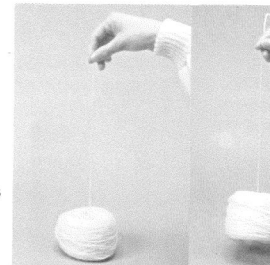
糸はかせになっているものや、手で玉に巻いたものは使いにくいので、かせくり器と玉巻き器を使って出来るだけやわらかく玉巻きします



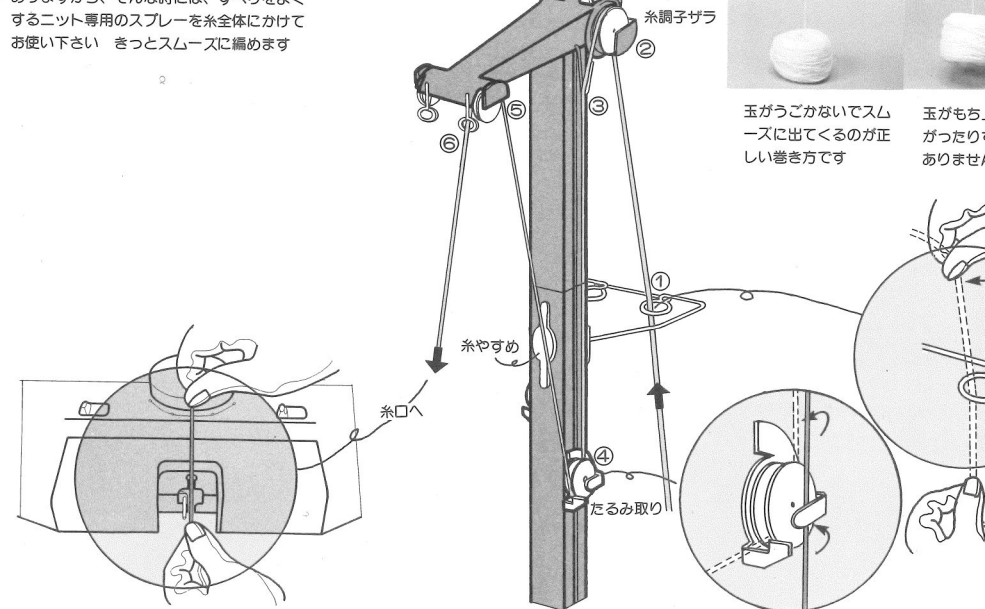
(2)糸の通し方



玉巻きになっている糸でも、内側の糸が通らなくて少し抵抗がある時はもう一度、軽く巻き直しましょう

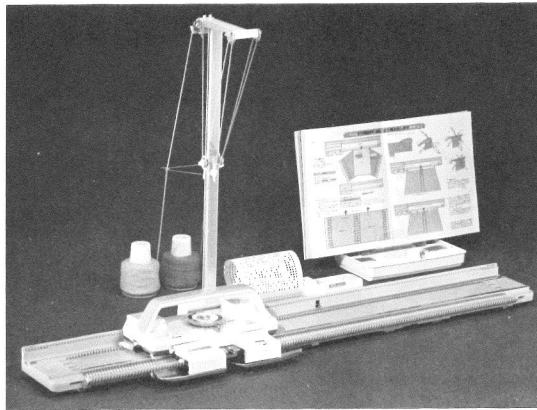


玉がうごかないでスムーズに出てくるのが正しい巻き方です 玉がちがったり、あがりません



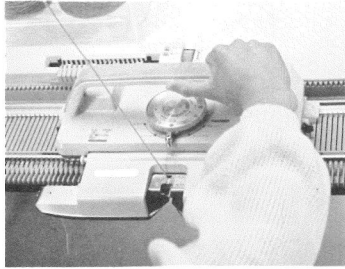
③編む時に注意すること

あみ機のまわりは、いつも整理しておきましょう
このあみ機はとてもコンパクトに作られています。そしてすべての部分が大切なはたらきをもっています。編んでる途中で思わぬトラブルがおきないように、特にあみ機のうしろ側はきれいにしておきましょう。からみこまないよう気をつけましょう。



●キャリジの持ち方

キャリジはハンドルの右角を持って、右→左へ押す要領、左→右へは引く要領でうごかします。



●編む時の姿勢

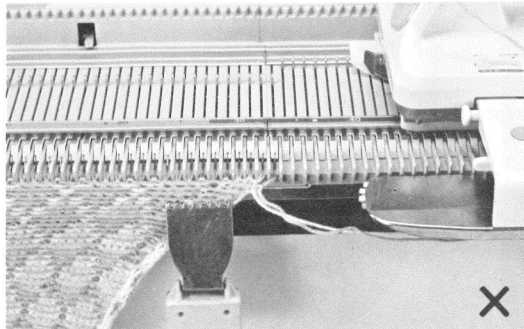
背すじを伸ばしてあみ機の中央にすわります。右手でキャリジのハンドルをもち、左手はあみ機のはしに軽くそえます。ひじをはってキャリジをうごかすとつかれますから、ひじは自然に下げて肩の力をぬきます。



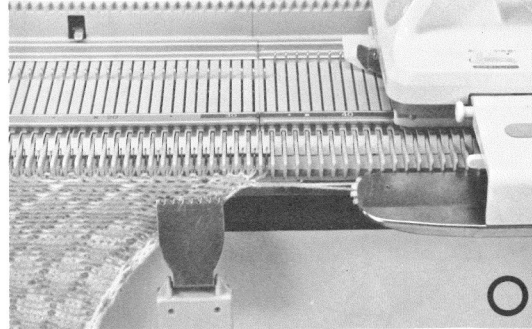
●編む時の速度

キャリジはいつも一定の速度でうごかします。編み終るとカチッという音がします。かならずこの音を聞くまでキャリジを動かして下さい。

あまり勢いよくキャリジを動かすと編み地から遠くはなれたところまでうごかしてしまいます。



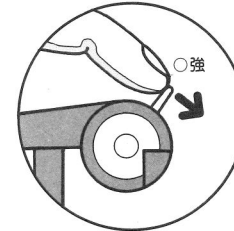
そうすると編み糸が長く引つばられ、編みもどる時にこの糸がゆるんでしまいがちです。編み時にあまり早くキャリジを動かさないようにしましょう。



※編み幅がせまくなるとキャリジを早く動かさないと仕上がりが悪くなります。注意しましょう。

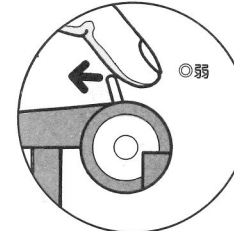
正しいテンションの状態

糸調子サラの位置のテンションレバーは、糸の太さによって「◎弱・○強」いずれかにあわせてください。



糸口からテンションまではいつも「たるみ」がなく張った状態ではありません。

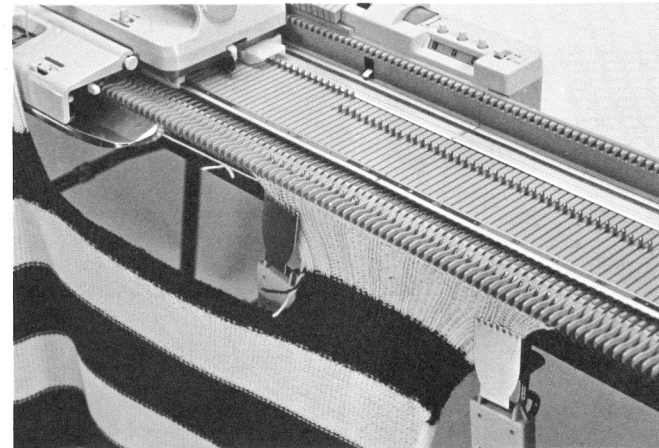
テンションが正しくセットされ、糸が通されていても、キャリジを速く動かしたりすると、テンションが正常にきかなくなる場合がありますので注意しましょう。



糸調子レバー

前身頃などを編んでいる時に途中から片側半分は編み休め片方だけ編み続けるため、編み地があみ機の左右いずれか片寄ったところにかかっていることがあります。

メリヤス編みの場合は問題ありませんが、パンチカードを使って模様編みをしている場合はキャリジがあみ機の中央にあるパンチカードの前を通過しなければ模様編みできませんから、編み地の右か左、いずれか一方はやむをえず編み地のはしから離れた位置まで、キャリジを動かさなければなりません。

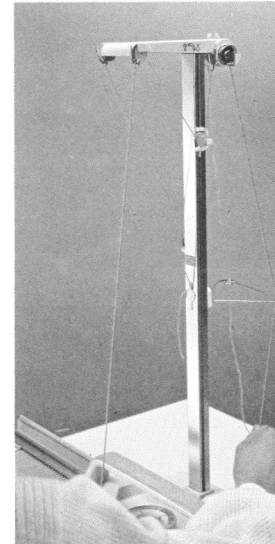


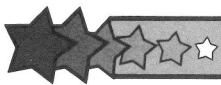
テンションレバーの位置の使

テンションレバーの位置は、使用によって使いわけます。おおよそ次に示すようにしてください。

	毛糸別では	糸タイプ
◎弱	並太毛糸 ブークレー モヘア	NO.①②⑩⑪
○強	中細毛糸 合細毛糸	NO.③④⑥⑦⑧⑨

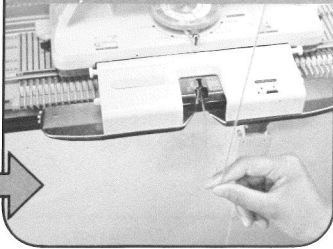
この様な時、編み地のはしからキャリジの口まで引つばれた糸がたるんでテンションがきかないようでしたら、編みもどる時に糸を引いて、たるみをとりながら編み





こんなときには

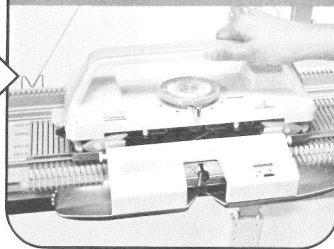
糸のからみ以外で動かないとき
キャリジを無理に動かそうとしないでまず糸口から糸をはずします



段数計レバーを「●」とまるにします
キャリジのから通しレバーを矢印の方向に動かし、から通しの状態にします



キャリジを、編んでいる針がぬける所まで、進行方向へうごかしてください



編んでいる途中キャリジが動かなくなったとき

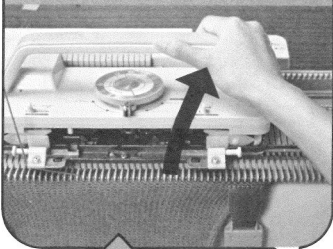
動かなくなった原因には、プレッサーに糸がからまった時とそれ以外の2通りがあります
それぞれよくみてから始めます

プレッサーに糸がからんでいる時

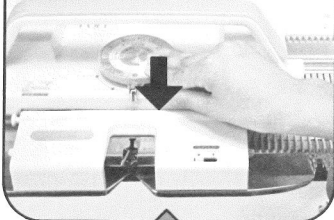


プレッサーの両端についているプレッサー固定つまみを外側に引いて、プレッサーを手前に水平に引いてははずします

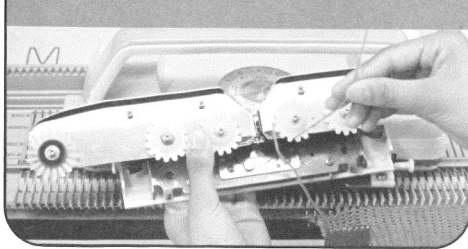
段数計レバーを「●」とまるにします
キャリジのから通しレバーを矢印の方向に動かし、から通しの状態にします



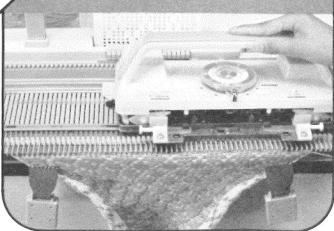
キャリジの糸ダイヤルのところを押し下げて、キャリジをもとの状態にします。そして、プレッサーをはめ、プレッサー固定つまみをきちんと押し込んでとめます



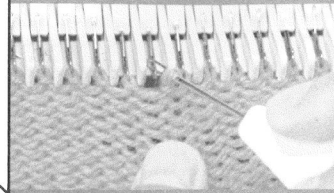
プレッサーにからんでいる糸をはずします



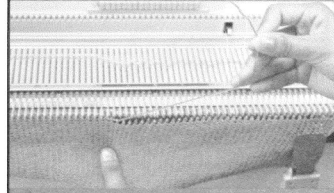
キャリジを、編んでいる針がぬける所まで、進行方向へうごかしてください



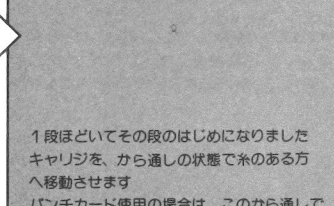
①編み目が針からはずれているところはワシで編み目をひろってもとします



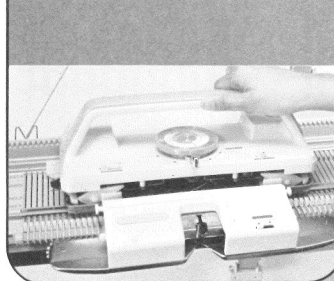
②途中で編んでキャリジをから通しさせた場合は段をほどいてその段のはじめの状態にします。まず段数計を1段くり戻します。そして針をB位置へきちんと揃えて、編み目が浮



くのをふせぐために左手で編み地を下にさげながら右手で糸を前後に動かすように強くひくと一段ほどくことができます(18ページ参照)
パンチカードを使用している時は1段くり戻し、カードレバーを「●」とまるにセットします



1段ほどいてその段のはじめになりました
キャリジを、から通しの状態で糸のある方へ移動させます
パンチカード使用の場合は、このから通してカードの前を通過しますので、次に編む段の模様を記憶したことになります



キャリジが動かなくなりやす

あみ機は美しい編み目を編むため設計調整されています。いつも正常な状態に保って、お使いのドライブを4つ

●テンションや糸口に正しく糸がない時、テンションダイヤルが正されていない時、キャリジを編みから遠くに動かした時などに、編みもどる時、その糸がプレッサーのブラシに引っかかってキャリジが動かなくなることがあります。こんな引いて、テンションから糸口、編みのたるみを取り、キャリジの端から2~3cmはなれたところまでおきましょう

●糸をかたく巻きすぎたため、玉糸がからまって出てきたり、あるきな結び目があったりしてテンション内や、糸口に引っかかることがあは出来るだけやわらかく玉巻きにしよう
※「編み始める前に知っておくこと」を参照してください

●編みもどるのが早すぎると、はに編みなくて、次の段を編む時、動かなくなることがあります。キャリジを編み地のはしから、2~3cmは動かしてください
パンチカードを使用して模様編み場合は、キャリジがパンチカードの通過しないと次の模様をおぼえま編み幅のせまいものを編んでいる必ずキャリジはパンチカードの前まで動かし、糸のたるみに注意しもどりましょう
※「編み始める前に知っておくこと」を参照してください

●配色用の糸や、捨て編み用の糸のプレッサーのブラシにからまってキャリジが動かなくなることがあります。これらの糸は出来るだけ短く(残して)切っておくか、配色糸がないで続けて編みましょう
プレッサー固定つまみが正しい位置にされていないとプレッサーが不安定に動きませんので、一固定つまみは、両側からカチッと音まで押し正しくセットしましょう

編み目がはずれてしまったとき

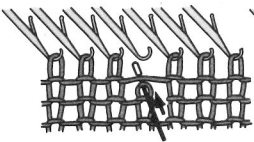
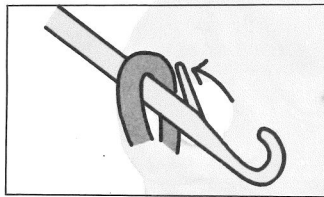
編み目がはずれたのを
段編んで気づいた場合
の場合に応じて下記の
目をなおしましょう

すぐ気づいた場合と数
段編んで気づいた場合
があります それぞれ
のようにして、はずれた
目をなおしましょう

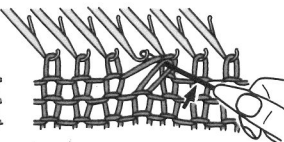
●すぐ下の段の目がはずれているとき

※2~3段下の編み目がはずれた場合も、この方法をくりかえしますと、編み目をもとどりになおすことが出来ます

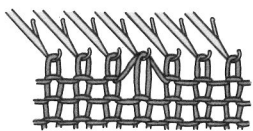
※「ペラ越し」とは編み目をペラのおこう側に移し、ペラから抜けさせることです



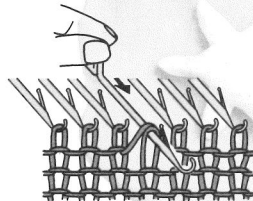
①はずれた目にウツシを入れます
注：はずれた目にウツシを入れるのが難しければ、その目の1段下の目を拾ってもかまいません



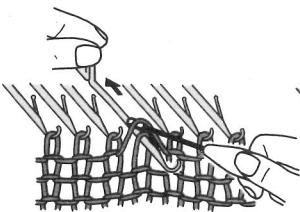
②ウツシに拾った編み目と、その上の段のほどけて横に渡った糸と一緒に、編み目がはずれて空になった針のフックにかけます



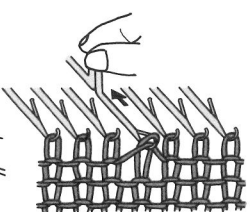
③針には1段下の編み目と、ほどけて横に渡った糸がかかっています



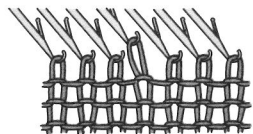
④手で針をD位置に出し編み目をペラ越しさせて針をC位置までもどします編み目はペラのすぐ後ろ側にあります



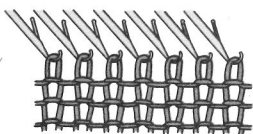
⑤左手で針のバットの部分を持ち、少し針を手前に動かしながら、ウツシをつかって、ほどけて横に渡った糸（いちばん上の段の糸）だけフックの中に入れます
※1段下の編み目はペラ越しさせたままにしておきます



⑥手で針をB位置にもどしますペラ越しさせていた1段下の編み目が針からはずれて、横に渡っていた糸が編めます

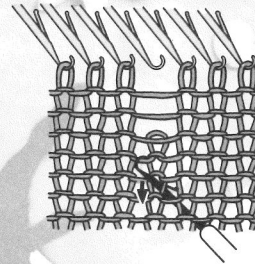


⑦はずれた目が拾えて、もとの段になったら、手で針をA位置の方に、少し動かして編み目を引っ張りながら...

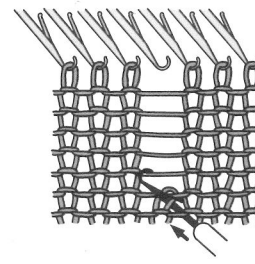


⑧左右の編み目の大きさをそろえましょう

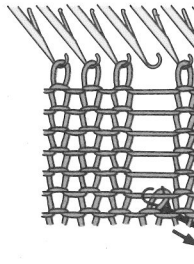
●何段か下の編み目がはずれているとき



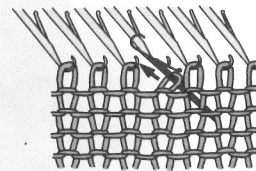
①編み目を拾いやすいように左手で編み地をもってはずれた位置から2~3段下の編み目に、編み地の向う側（表目側）からタツビを入れて拾い目します
その状態のままタツビで編み地を下方へ引っばると、すぐ上の編み目がほどけて糸が横に渡ります



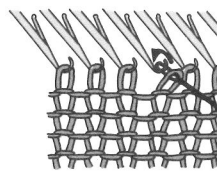
②左手で編み地をもち、編み地を下方に引っばりながら①で拾い目した編み目をタツビの後側（ペラ越し）につまみます
※タツビを向う側から手前に押し込むようにすると編み目は自然にペラ越しされます



③タツビのフックで次の段の糸をキャッチし、そのままタツビを引っ込みます
最初に拾った編み目はタツビを渡っていた糸で1段編めてタツビはその編み目が残ります



④1~3をくりかえし、ほどけて横に渡っていた糸を一番上の段までタツビで編みます最後に編んだ編み目にタツビを入れたまま左手でタツビと編み地を押えます



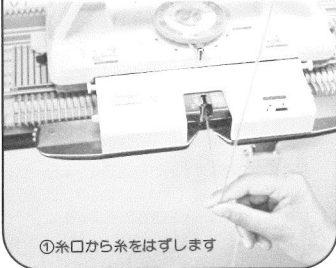
⑤編み目に手前（裏目側）からタツビをはずしますウツシのフックに編み目をかけます

※模様編みをしている時に編み目がはずれた場合は、それ以上ほどけないようにはずれた編み目にタツビのフックをかけてぶらさけておくか、又は同じ針に糸を通してその編み目に糸を通しておきましょう
あとは次の頂の「まちがえて編んだ時のなおし方」を参照して下さい

まちがえて編んだときのなおしかた

(1)

増減目がない場合のなおしかた

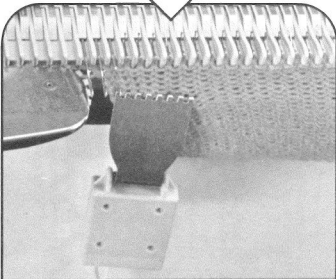
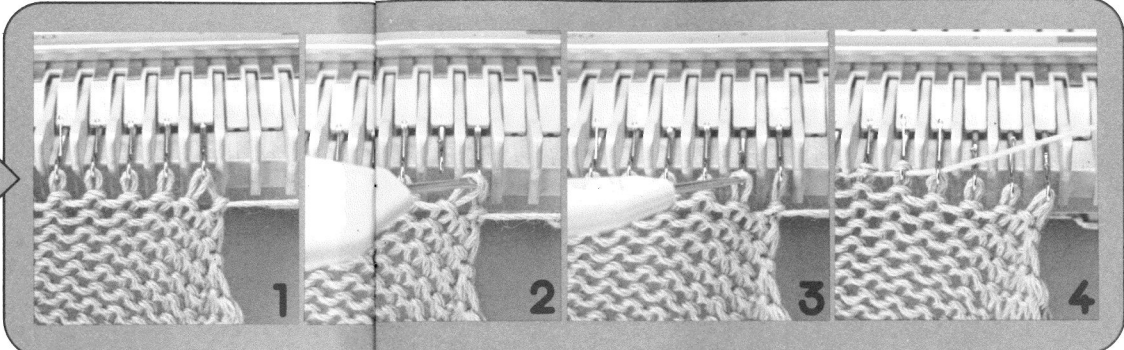


①糸口から糸をはずします

(2)

減らし目をしている位置でのなおしかた

ほどいているうちに 減らし目をして、編み目が2目重なっている 位置にきたら、まず重なっている2目を1目 ずつ元の状態にもどしてほどこきます つまり端の編み目が2目重なってかかっている針をウツシでD位置に出し、そのままウツシを水平に動かして針をB位置に押し戻すと 2目ともウツシにうつります その2目を1目ずつ針のフックにかかけます 写真の順序で やってください



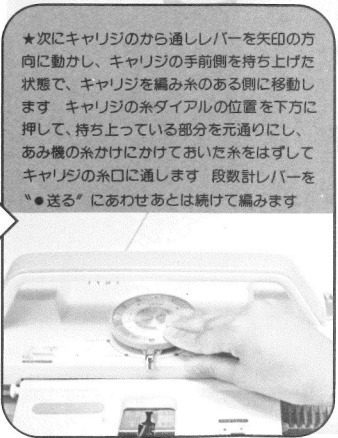
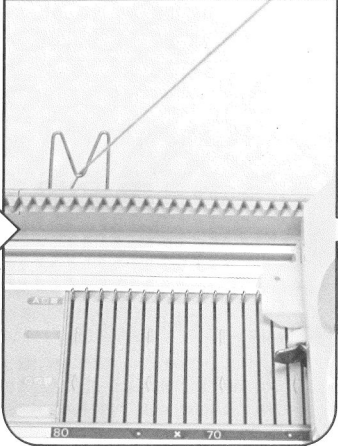
②編み目が浮かないように、編み地の両はしにポリオモリをかけ、さらに左手で編み地を下方に引っ張ります

④糸を引くと、針が前面に出てきて、針位置がみだれますので、柄板の平らな側で、針をB位置にそろえながら③の要領でまちがえた段までほどこきます ほどいた段数だけ段数計をもとし段数計レバーを“とまる”にあわせませす ほどいた糸はたるみがなくなるまでテンションの後ろへ引いてキャリジの糸口に通します テンションから糸口が正しく通されているかも一度チェックしましょう

★最後の段をほどいた時、編み糸がキャリジの反対側に来ている場合はまず編み糸をたるみがなくなるまで、テンションの後ろに引いて、あみ機の両はしにある糸かけにかけておきます



③右手で糸を前後に動かす要領で強く引くと、前の段の編み目が自然にフックの中に戻ります



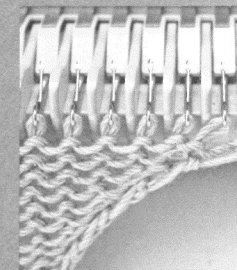
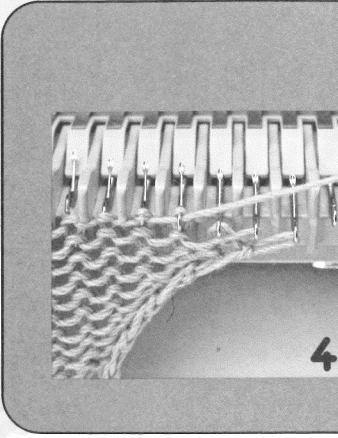
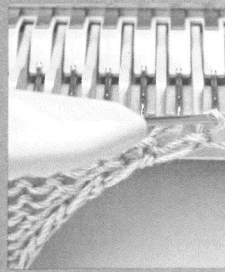
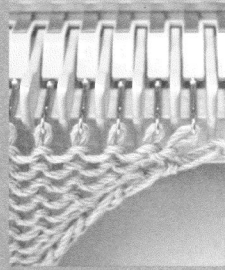
★次にキャリジのから通しレバーを矢印の方向に動かして、キャリジの手前側を持ち上げた状態で、キャリジを編み糸のある側に移動します キャリジの糸ダイヤルの位置を下方に押し、持ち上っている部分を元通りにし、あみ機の糸かけにかけておいた糸をはずしてキャリジの糸口に通します 段数計レバーを“●送る”にあわせあとは編んでいきます

まちがえたときはゆっくりとひとつずつなおしてゆきましょう
まちがえるのも上達のひけつです

まちがえて編んだときの

(3)

増し目をしている位置でのなおしかた
増し目をしている段も(1)と同じ要領でほどこします 増し目をした位置(はした針)の編み目がなくなり、針がその針にウツシで端の編み目を移

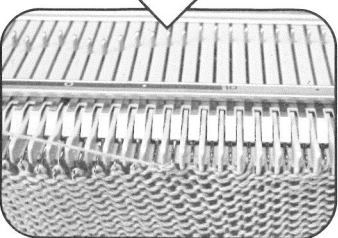
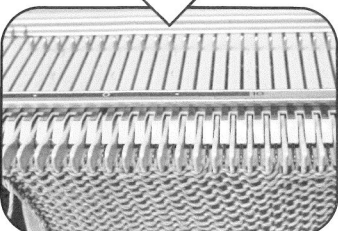
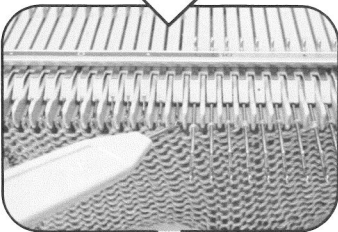
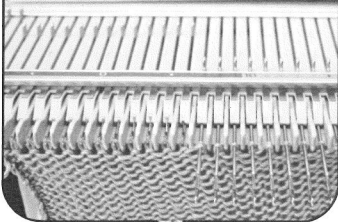


まちがえて編んだ時のなおし方

4

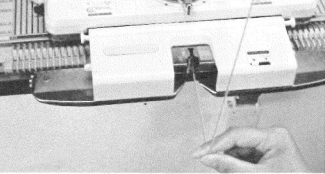
引き返し編みをしている位置でのなおしかた

引き返し編みのためにD位置に出ている針をウツシですべてB位置にもどします
ほどき方は1)と同じ要領です



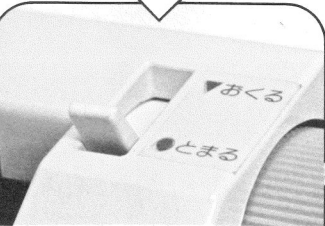
5

パンチカードを使った模様編みのなおしかた



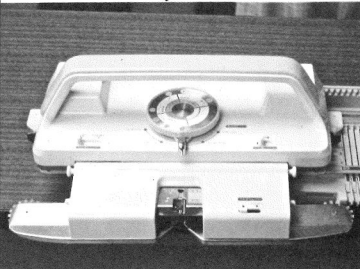
①糸口から糸をはずし、まちがえて編んだところまで、メリヤス編みと同じ方法で編み地をほどきます但し、編み込み模様の場合は2本の糸を同時に編んでいますので地糸と配色糸を交互にほどきましよう ほどいた糸はたるみなくなるまでテンションの後に引いて糸かけにかけます

②ほどいた段数だけパンチカードと段数計をくりもどします

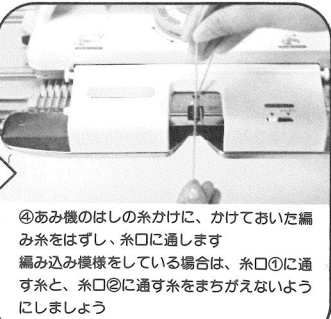
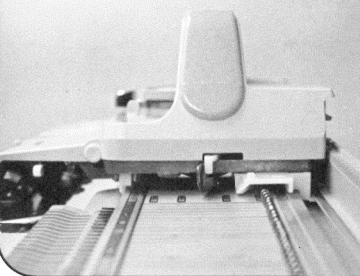


③まずカードレバーと段数計レバーを「●とまる」にあわせ、から通しレバーを矢印の方向に動かして、キャリッジの手前側を持ち上げた状態でキャリッジを移動させます キャリッジは、パンチカードの前を通過すると、パンチカードのくりもどした段の模様を記憶します 編み糸がキャリッジの反対側にある場合は、もう1度キャリッジをから通しさせて編み糸のある側に移動し、糸ダイヤルのところを下方に押し、キャリッジの手前の持ち上った部分を元通りにします

キャリッジをあみ機からはずしたい時



①まず、針はすべてA位置にきれいに揃えます。
②キャリッジを、あみ機の左側へうごかします

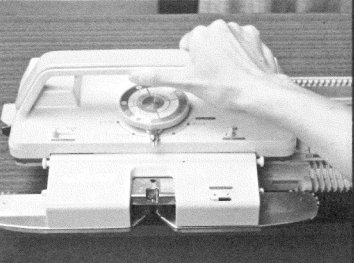


④あみ機のはしの糸かけに、かけておいた編み糸をはずし、糸口に通します 編み込み模様をしている場合は、糸口①に通す糸と、糸口②に通す糸をまちがえないようにしましょう

⑤カードレバーと段数計レバーを「▼送る」にあわせ、テンションから糸口まで正しく糸が通されているかチェックして編みつけましょう

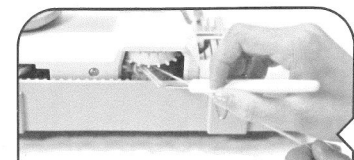
キャリッジの裏を手入れしたり、塗油するとき
キャリッジの裏を手入れしたり、塗油するときはキャリッジをあみ機からはずさなくてはなりません

そんな時には、次のようにしてはずしてください



③キャリッジが、左はしのキャリジストップバーでうごかなくなりますから、そこで、キャリッジの左側を持ち上げるようにしてください スムーズにキャリッジはぬけます

④キャリッジをもとに戻すときは、そのままあみ機のレールにあわせてはめてください



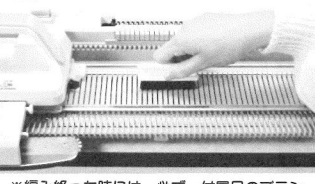
※とれにくい時は、糸を短く切って、巻きついた糸をタッピで引き出すようにして注意しながら取り除いてください

5キャリッジが重くて動きにくいとき

次のような時に、キャリッジの操作が重くなる場合があります 各部分をチェックし、適切な処置をして編みましょう

1)玉巻きにすると固く巻きすぎて糸がスムーズに送られない時や、糸がもつれてしまった時は
(編み始める前に知っておきたいこと)を参照してください
2)糸の太さに対して糸ダイヤルが正しくセットされていない時
3)テンションの糸通しの順序が、まちがっている時

4)あみ機がよごれていたり、油切れがしている時



※編み終わった時には、必ず、付属品のブラシであみ機についている毛クスを払い落しておきましょう

5)プレッサーの裏のブラシに毛糸がからまっている時
プレッサーの固定つまみをはずして、プレッサーをキャリッジからはずし、ブラシに巻きついている毛糸を取り除きます

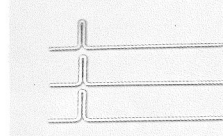
6)人工頭脳に糸がまきついた時



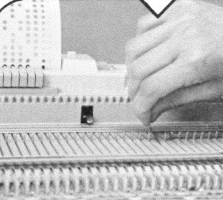
※無理に引っばらないで歯車をまわしながら注意して糸をほどきます

6メリヤス針が破損したとき

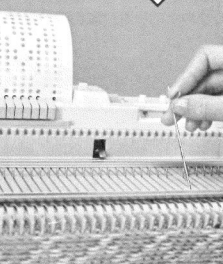
付属品の中に予備針が3本入っています メリヤス針は編み地があみ機に付着した時でも、そのままの状態でも簡単に交換できますので、メリヤス針が破損した時には次の要領でとりかえましょう



1)とり替えたいメリヤス針をB位置にします



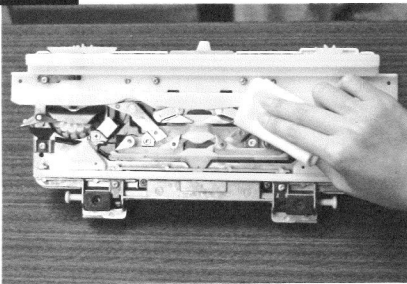
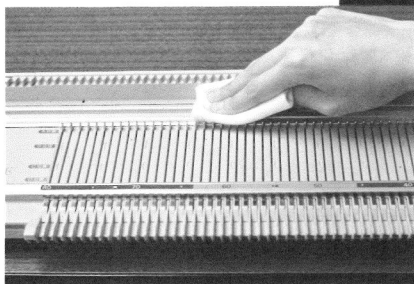
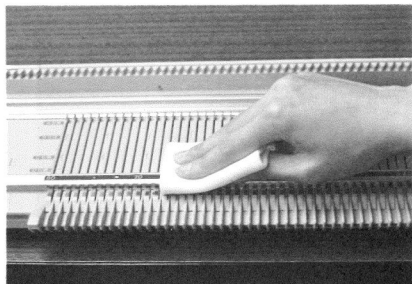
2)パットを持ってメリヤス針の3分を持ち上げ、そのままの状態でも、側(A位置におか)に押しつけてから抜きます



3)新しいメリヤス針を入れる時はつまんでフックから先に入れ、み①と逆の順序でパットを押える型クを入れます

いつまでも楽しくお使いいただくためのご注意

あみ機は、精密に設計調整されています。いつまでも気持ちよくお使いいただくためには掃除などのお手入れに十分注意して永くご愛用ください



ときどき掃除をしましょう

お使いになっていると、毛糸のくずなどがついて、せつかくの作品をよごすばかりではなく、操作が重くなったりします。ときどき、あみ機のミノ板等のホコリを付属のブラシではらい落してください

ときどき、塗油してください

ほこりをはらったあとは、次の部分にごくわずかに油をつけてすべりをよくしましょう。油は、あみ機に付属している油以外は、絶対に使用しないでください。他の油を使いますと、材質をいためて思わぬ故障のもとになったり、あみ機の寿命を短くしたりしますので注意しましょう。長く保管したあと、再びお使いになるときも、同じように塗油してからお使いください。付属の油をしみこませた布で、次の部分をよくふく程度で塗油します。

①キャリジの裏側

キャリジをあみ機からはずし(20ページ参照)て、キャリジの裏側にあるカムをふきま

②あみ機のレール

キャリジがすべってうごくレールが2本あります。このレールの部分のみふきます。

③針のバット

針のバット部分は、キャリジとの関連で大切なところで、針をすべてA位置にきちんとそろえたうえで、針のバットのところをふいてください。

その他のところの掃除は……

ケースなどのプラスチックで出来ているところの汚れは、やわらかい布に中性洗剤の溶液(指定された濃度にうすめた液)をつけて拭きとってください。

シンナー、ベンジン、ガソリンなどは絶対に使用しないでください。

お使いになる上でのご注意

●ご使用のテーブルについて
あみ機の全長よりも短いテーブルや、反りの大きなテーブルの上でお使いにならないでく

ださい。キャリジの操作が重くなる場合があります。また、テーブルクランプで必ずテーブルに固定することも守ってご使用ください。

●ご使用の場所について

長い時間、直射日光があたる場所、あるいはストーブのすぐそばでのご使用や保管はしないでください。

●ほこりに注意してください

しばらくの間お使いにならない時、編んでいる途中でやめるときなどは、いつでも広い布などで、あみ機の全体をカバーして、ほこりなどを防ぐようにしましょう。

●保管について

長い間お使いにならないときは、掃除をして必ずケースの中に格納して保管しましょう。保管の場所は、湿気の多いところ、ひどく寒暖の変化があるところ、塩分や化学薬品が近くにあるところなどは、さけてください。

修理サービスのご案内

★ 修理サービスのご相談

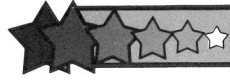
1. このあみ機のご購入者には、当社(保証責任者)から1年間の無料修理を保証するリッカー編機保証書が発行されています。内容をお確かめの上、大切に保存してください。
2. 修理サービスは、無料修理期間内および期間経過後も販売店または当社直営支店が承りますのでご相談ください。

★ 修理用部品の保有期間

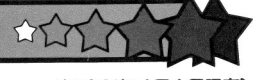
修理に必要な機能部品は、通常ご購入の日から5年間を基準にして当社において保有しております。

★ 無料修理期間経過後の修理サービス

1. 使用説明書またはご使用のびきに基づいて正しい使用とお手入れがされている場合、無料修理期間(保証期間)を経過していても修理用部品の保有期間中は、当社直営支店を通じて有料で修理サービスを行います。ただし、次に該当する場合には有料でも修理できない場合がありますので、当社直営支店にご相談ください。
 - (1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき
 - (2) 浸水、冠水等天災地変により、不調、故障または損傷したとき
 - (3) ご購入後の移動または輸送により、不調、故障または損傷したとき
 - (4) 当社直営支店、および工場以外で修理分解または改造したため不調、故障または損傷したとき
 - (5) 職業用等過度なご使用により、不調、故障または損傷したとき
2. 長期間にわたってご使用されたあみ機の精度の劣化は修理によっても、もともと修復できないことがあります。
3. 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代、交通費および技術料の合計額といたします。



リッカー直営サービス網一覽表



(昭和54年4月1日現在)

(代表店一覽)

本 社 / 東京都中央区銀座6-2-1 千104 電話 03 (572) 7211 (大代表)

	所 在 地	千	電 話
(北 海 道)	旭 川 旭川市一条通り9丁目右1号	070	(0166)(23)6303
	釧 路 釧路市若松町2-10	085	(0154)(25)1854
	札 幌 札幌市中央区北1条西3-3-10	060	(011)(241)5386
	函 館 函館市松風町18-12函館リッカービル内	040	(0138)(22)0289
(青 森 県)	青 森 青森市新町2丁目ア-17	030	(0177)(22)3471
	八 戸 八戸市二十三丁目30	031	(0178)(22)2358
(岩 手 県)	盛 岡 盛岡市中央通2丁目1-27	020	(0196)(23)6486
(秋 田 県)	秋 田 秋田市中央通り3-4-6	010	(0188)(33)0375
(山 形 県)	山 形 山形市十日町3丁目1-45	990	(0236)(22)7090
(宮 城 県)	仙 台 仙台市中央2-3-21	980	(0222)(62)4541
(福 島 県)	平 いわき市平字5-15-1	970	(0246)(23)2494
	郡 山 郡山市駅前1-9-15	963	(0249)(22)1365
(茨 城 県)	水 戸 水戸市宮町2-2	310	(0292)(24)3604
(栃 木 県)	宇 都 宮 宇都宮市大通り2-4-7	320	(0286)(34)6396
(群 馬 県)	高 崎 高崎市田町(足利銀行隣)	370	(0273)(22)5909
(新 潟 県)	新 潟 新潟市古町通四番町638番地2	951	(0252)(43)2204
	長 岡 長岡市表町1-11-1 安田生命長岡ビル内	940	(0258)(32)4876
(千 葉 県)	千 葉 千葉市新町1	280	(0472)(42)0868
	船 橋 船橋市本町2-1-36	273	(0474)(31)4684
(埼 玉 県)	大 宮 大宮市大門町3-71	330	(0486)(41)2325
	川 口 川口市米町3-13-1	332	(0482)(53)0785
(東 京 都)	東京東部 墨田区江東橋2丁目11-6	130	(03)(631)7134
	新宿 新宿区新宿3-9-7(陽光ビル)	160	(03)(351)2854
	立 川 立川市錦町3-1-15(寿ビル)	190	(0425)(24)3947
	東京北部 練馬区豊玉上2-15-20	174	(03)(994)4118
(神 奈 川 県)	横 浜 横浜市神奈川区鶴屋町3-32横浜アカデミービル内	221	(045)(311)9881
	藤 沢 藤沢市藤沢582(遊行通)	251	(0466)(26)0331
	小 田 原 小田原市栄町1-14-11(駅前通)	250	(0465)(23)2218
(静 岡 県)	静 岡 静岡市本通1-2	420	(0542)(55)6231
	浜 松 浜松市神明町28	430	(0534)(52)7175
(長 野 県)	長 野 長野市大字鶴岡緑町1393	380	(0262)(26)6112
	松 本 松本市中央1丁目7-6	390	(0263)(32)1417
(山 梨 県)	甲 府 甲府市丸の内3-33-3	400	(0552)(26)2075
(岐 阜 県)	岐 阜 岐阜市敬明通3丁目7	500	(0582)(63)2161
(愛 知 県)	豊 橋 豊橋市渥美橋新豊橋駅前	440	(0532)(53)5572
	名古屋 名古屋市中区栄2-3-9	460	(052)(221)7091
	名古屋 名古屋市中区金山1-14-9(長谷川ビル7階)	460	(052)(322)1821

	所 在 地	千	電 話
(三 重 県)	四 日 市 四日市市沖の島町3-13	510	(0593)(51)1558
(富 山 県)	富 山 富山市新富町1丁目1-9	930	(0784)(41)2781
(石 川 県)	金 沢 金沢市本町2丁目1-19	920	(0762)(63)7177
(福 井 県)	福 井 福井市大手2丁目1番21号	910	(0776)(22)8234
(滋 賀 県)	大 津 大津市御幸町5-27	520	(0775)(24)2719
(京 都 府)	京 都 京都市下京区烏丸通り松原上ル	600	(075)(361)8477
(奈 良 県)	奈 良 奈良市馬場町5	630	(0742)(22)4091
(大 阪 府)	北 大 阪 大阪市淀川区十三本町1-5-8	532	(06)(309)0671
	東 大 阪 東大阪市足代新町2丁目11-6	577	(06)(781)1679
	大 阪 大阪府南区心斎橋筋1-17(大丸前)	542	(06)(271)3428
	大阪南部 堺市一条通18-3(堺東駅南)	590	(0722)(32)3378
(和 歌 山 県)	和 歌 山 和歌山市美園町4-57(駅前通り)	640	(0734)(22)3736
(兵 庫 県)	姫 路 姫路市総社本町6-2	670	(0792)(82)0136
	神 戸 神戸市生田区元町通7-4	653	(078)(351)1073
(徳 島 県)	徳 島 徳島市両国本通(内町/1又停前)	770	(0886)(22)6220
(香 川 県)	高 松 高松市兵庫町1-13(三越角西入ル)	760	(0878)(51)7580
(愛 媛 県)	松 山 松山市千船町5丁目4	790	(0899)(41)4472
(高 知 県)	高 知 高知市北本町2-2-17	780	(0886)(82)6787
(岡 山 県)	岡 山 岡山市野田屋町1丁目7	700	(0862)(22)0819
(広 島 県)	福 山 福山市霞町1丁目3-11	720	(0849)(32)1500
	広 島 広島市西十日市町1-6	730	(0822)(93)4101
(鳥 取 県)	米 子 米子市明治町35(米子駅前通)	683	(0859)(22)4056
(島 根 県)	松 江 松江市白湯本町68(合銀本店前)	690	(0852)(21)4617
(山 口 県)	下 関 下関市竹崎町68の2(三井ビル)	750	(0832)(32)2821
(福 岡 県)	北 九 州 北九州市小倉北区春香口2-10-6(上村ビル)	802	(093)(931)1307
	福 岡 福岡市中央区濠辺通り5-23-8(サンライズビル内)	812	(092)(711)9068
(佐 賀 県)	佐 賀 佐賀市唐人町2-5-12	840	(0852)(24)1327
(長 崎 県)	長 崎 長崎市大黒町10-2(長崎駅前)	850	(0958)(21)6621
(熊 本 県)	熊 本 熊本市水道町7番街2号	860	(0963)(54)5216
	八 代 八代市大手町2-1-10	866	(09653)(5)3081
(鹿 児 島 県)	鹿 児 島 鹿児島市西千石町10番3号	892	(0992)(26)2071
(大 分 県)	大 分 大分市中央町1丁目5-22	870	(0975)(33)0104
(宮 崎 県)	宮 崎 宮崎市広島通2丁目4-9	880	(0985)(22)3231